

『真理』で社会を正しく見詰める

神 示

人々は 「真理」を欠き 知識を頼って生きるため  
主義・主張が強く

実体を下げ 自ら悩み 苦しむ

信者は 神示に「真理」を読み取る努力がほしい

「真理」に気付きを得るほど

人間の心は安定し 「道」欠く心の動きを取らない

万人・万物との出会いが生かされ

実体は高められてゆく

社会の正・誤が見えてきて

「正道」を踏む存在となっていく

なぜ 人々の心が乱れ

調和に生きる環境が持てないのか

分かるかや

真理を欠いた

その場 その時代の 体験・知識に生きるため

運命の力が引き出せず

低き実体が社会の姿をゆがめている

神魂は 社会の姿を「正道」へ戻すため

時代の運命を操っている

その間 信者は 「教え」に生きて

変化にのまれぬように 人生の悟りが大切

——「道」を守りて「光」が通る——

開運の仕組みに気付いて 「教え」に生きる時代

現代は、多くの人々が知識ばかりに頼り、自分は正しいと思い込んで、自我強く生きています。そこに、他者と意見を戦わすなど、道理から外れ、実体を下げ、自ら苦しみを生み出しています。

それだけに、神のお言葉、神示から真理をつかみ、社会を正しく見詰める心が必要と、神はお教えてくださいます。

神示に触れていると、見えなかったところに気付けるものです。気付けば、自分自身をどう正していけばよいか分かり、気持ちも安定します。すると、道を欠く心の動きもなくなります。

人の心を大切に、他者を受け入れ、自身にできることを進んで、奉仕の心で暮らしていると、万人、万物との出会いが生きてきます。自らの実体が高められ、品性が向上し、感じ方、考え方が豊かになります。実体が改善されれば、運命の力が存分に引き出されるのです。

そして、社会の動きも、何が正しく、何が間違っているのかが見えてきます。結果、判断を誤ることなく、自分のすべ

き方向に目が向けられます。すなわち、正道を歩んでいけるのです。

今の世の中は、人々の心が乱れています。的外れの正義を振りかざし、他者を批判し、否定して、追い込みます。お互いさまの意識が薄く、調和を欠く人も数知れません。

それは、その場しのぎの知識に頼って生きる人が多いからです。道理に沿っていないければ、社会に役立つ力は引き出せず、自我や欲心がぶつかり合います。結果、環境をゆがめているのです。

そのように乱れた社会を正道へ戻すため、神は時代の運命を操り、さまざま現実を通して人々に気付きを与えようとされています。ですから、教えを知った信者であるなら、神示から真理を読み取り、世の中を正しく見極め、変化にのまない心を保つことが大切です。

今は、『道』を守りて『光』が通る』有り難い時代です。だからこそ、開運の仕組みを踏まえ、道を守って生きる努力を重ねていきましょう。